



としょかんだより

秋の日はつるべ落としと言いますが、日が暮れるのが早くなりました。皆さんが下校する頃には辺りはもう真っ暗ですね。これから段々寒さが厳しくなってきますので、体調管理に気を付けて今年残りの日々を元気に過ごしてほしいと思います。

ノーベル賞の世界



11月27日はノーベル賞制定記念日です。今年のノーベル物理学賞は青色発光ダイオード（LED）の発明に大きく貢献した日本の赤崎勇博士をはじめとする3名へ贈られ話題となりました。図書館では10月末よりノーベル賞受賞者に関連する伝記や著作、雑誌などを特集展示しています。ぜひこの機会にノーベル賞の世界に触れてみませんか？お待ちしております。

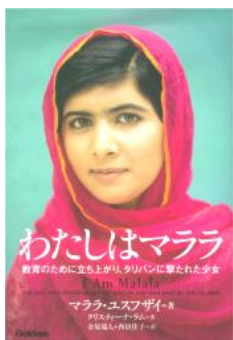
【展示本紹介】

- ・ノーベル賞110年の全記録 NEWTON
- ・青色LED大革命 NEWTON
- ・夢を持ち続けよう 根岸英一
- ・生涯最高の失敗 田中耕一
- ・素顔の山中伸也 毎日新聞科学環境部
- ・生命の未来を変えた男 NHKスペシャル取材班
- ・クラゲに学ぶ ノーベル賞への道 下村脩
- ・科学にときめく 益川敏英
- ・わたしはマララ マララ・ユスフザイ など。



『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

マララ・ユスフザイ



マララさんは今年のノーベル平和賞を受賞しました。ノーベル賞すべての部門を通じ、史上最年少での受賞となりました。女子教育を認めないタリバンの圧力に屈せず、「女の子にも教育を、学校に通う権利を」と主張し続けたマララさんは、昨年10月、下校途中のスクールバスで狙われ、頭を撃たれました。一時は生死の境をさまようものの、奇跡的に命をとりとめ、その後も教育のための活動を続けています。この本はテロリズムによって生活が一変した家族の物語でもあり、女の子が教育を受ける権利を求める闘いの記録でもあります。銃弾に負けず、「1冊の本と1本のペン」を求めて闘うマララさんの思いをぜひ感じてほしいと思います。

お知らせ

2週間の読書週間が終わりました。期間中の貸出冊数は159冊、来館者数は230人（昨年度は166冊、180人）でした。期間中の利用ありがとうございました。これからも素敵な本と出会う機会となるよう、様々な取り組みを実施していきたいと思います！

私と読書

特別編



職員貸出数No.1の看護科・中村静枝先生に、高校生の時の読書の思い出と五高生にぜひ読んでもらいたい本を教えてくださいました！

中村静枝先生



高校時代といえば、遙か昔の事。私は主に哲学書関係を読んでいましたね。思い起こせば、小学生の頃からSF小説関係が好きで、謎の大陸アトランティスや宇宙ものをよく読んでいました。高校生になってからは人間の心の奥底の感情的な動きに興味が転じていき、ちょっと重厚な読み物を好んで読んでいました。代表的な読み物として、「カラマーゾフの兄弟」や、「罪と罰」、「ライ麦畑で捕まえて」など洋書を特に読んでいました。

成人してからは、ある出来事をきっかけに精神世界に興味を覚え、いわゆるスピリチュアル系のノンフィクション本を好んで読むようになり、元々興味があった、人間とは何か、宇宙とは何か、人間の生きる意味とは、本当の意味での健康とは等、興味追求に体験を含めいろんな本を読みました。そんな中今回この原稿を書くために過去の本をいくつか見直したとき、ああこれ~と思った本が、「ミュート・メッセージ」でした。ミュート(文明人)に伝えたいく真実の人々族(オーストラリアの先住民アボリジニ)の人類5万年の生きる知恵。ずいぶん前の本ですが、今の現代を見越していた内容に今更ながら驚愕したところです。五島高校の図書館にはないと思いますので、興味があれば衛生看護科の中村まで来てもらえれば貸しますどうぞ。



図書館の本で私がもう一度最初から読み直したいと思っている本が、

- ・上橋菜穂子さんの守り人シリーズ
- ・萩原規子さんの勾玉三部作

最近ファンタジー関係がお気に入りですが、ミステリーも大好きです。村上春樹さんや東野圭吾さんの作品も大好きです。たくさん本に囲まれた五島高校図書館はとても素晴らしいと思います。本が読める事の幸せを是非体験してくださいね。

中村先生、ありがとうございました！

中村先生お勧めの『守り人シリーズ』とは！



テレビアニメ化されているので知っている人もいると思いますが、異世界ファンタジー小説で全10巻あります。英語のみならず、スペイン語、中国語、イタリア語にも翻訳されており、世界中にファンをもつ大人気の本です。五高図書館でも予約、貸出数の多い人気本の一つです。

女用心棒のバルサは新ヨゴ王国皇子チャグムが川へ落ちたところへ通りかかり助ける。その縁で宮殿へ招かれたバルサは妃から「チャグムを連れて逃げてほしい」と頼まれる。チャグムの胸には精霊の卵が宿っており、その卵は悪しき魔物だと言われている。そのためチャグムは暗殺されようとしていたのだ。やむなくチャグムを連れて逃げるバルサ。やがて二人は国々を揺るがす闘争に巻き込まれ、世界の命運を握る闘いへと駆り出される。

図書委員おすすめ本の紹介

～ 今月は2年生図書委員によるお勧めです～



『ペンギンハイウェイ』 森見登美彦



ある日突然街に現れたペンギンの群れ。それについて調べ始めた「ぼく」は、憧れの「お姉さん」に不思議な力が関わっていることを知る。そこから彼の「ペンギン・ハイウェイ研究」が始まった。切ないながらもどこか懐かしく、読んだ後温かい気持ちになります。

『妖怪アパートの優雅な日常』 四辻彩夏



これは、縮葉タ士という両親を失った高校生が主人公の物語です。タ士はアパートに住むことになりますが、なんとそこはいわくつき。そこに住む妖怪とふれあいながら成長していくタ士の姿、必見です。文庫化もされています。是非読んでみて下さい。

『先生ったら、超弩級のロマンティストなのね』 小池真理子他



夏目先生のことを好きな人や興味がある人にはとてもお勧めです。先生の名作品を10分で読めるように「要約」をしていて、少しだけ名作の味わいを楽しめます。夏目漱石の作品を読んでみたいけれど、長くて読んだことがないという人に一度手に取って見てほしい本です。もちろん先生の作品を読んだ人にも楽しめる本です。

『ちいさな命がくれた勇氣 ナチスと戦った子どもたち』 キャシー・ケイサー



この本は世界大戦中の子どもたちの生活を描いた実話の物語です。平穏な町ブデホヴィーツェに暮らす子どもたち。しかしドイツ軍による支配によってユダヤ人は次々に場所を失っていく。そんな苦しい世界を生きぬいた子どもたちの物語。

『カルテット』 鬼塚忠

★2011年映画化



バイオリニストとして将来が有望視される中学生の開だが、家族は崩壊寸前。そんな中家族カルテットで演奏することになり…。家族や初恋、音楽について描かれている涙と感動の家族物語！面白いのでぜひ読んでみて下さい。

『キネマの神様』 原田マハ



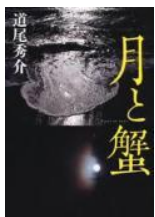
40歳を前に会社を辞め無職になった娘と借金が発覚したギャンブル依存のダメな父。二人はキネマの神様というタイトルのブログをすることになり、ローズバットという人物と親しい仲になっていく…。壊れかけた家族を映画が救う感動の物語！

『レンタルチルドレン』 山田悠介



二年前に優を失い生きる希望を失いかけていた泰史。ある時兄の紹介で子どもをレンタルする会社から優によく似た子どもをレンタルすることになる。そして優のために生きようと思った泰史であったが、ある時突然異変が起こる。優の体がおかしいのである。泰史は不思議に思い会社の事態を調べていくのだが…。先の読めない展開にとってもわくわくしながら読めます。是非一度読んでみて下さい。

『月と蟹』 道尾秀介 ★第144回直木賞受賞作



やり場のない不安、大人への感情を抱えた慎一と春也。二人はヤドカリを神様に見立て儀式を始める。慎一と春也の言動に読んだ人は共感するところがあるのではないのでしょうか。読者をはっとさせる少し暗いストーリーです。子どもは大人が思うよりも色々な感情を持っていることを感じさせる1冊です。

『モンスター』 百田尚樹 ★2013年映画化



幼い頃より「醜い」と蔑まれてきた女性が「整形」を通して美しくなっていく…。「美しくなりたい!」こう願うのは女性であれば当然です。整形を通して周りの主人公への態度や接し方、そして主人公の周りへの振る舞い、行動の変化が上手く表現できていてとても面白い。

『流星の絆』 東野圭吾 ★2008年にドラマ化



幼い頃に両親を殺された功一、泰輔、静奈の3人は大人になって詐欺師をやっていた。ある日ターゲットにした男をきっかけに14年前の事件の真相を追っていく。この本はハヤシライスを中心に物語が展開していきます。主人公の心の変化があったり、思いもよらない真相があったりと最初から最後まで楽しめる内容です。

『N.O. 6』 あさのあつこ ★2011年にテレビアニメ化



理想都市「N.O. 6」に住む主人公の少年「紫苑」12歳の誕生日の時、謎の少年「ネズミ」と出会う。それから4年後……。謎の事件をきっかけに紫苑は様々な事件に巻き込まれ、理想都市の裏、本質と意図を知ることとなる。

『99のなみだ』 リンダブックス編集部



この本は複数の話が一冊の本になっていてとても感動的な内容です。第1・第2・第3夜とシリーズ化されていますが、どの作品を読んでも満足できて温かい涙を流せると思います。興味のある方はどうぞ借りて読んでみて下さい。

紹介した本は図書館に置いてあります！ 皆さんぜひ借りにきて下さいね！

●10月の貸出冊数は338冊でした。(昨年度は401冊) 来月は寒い冬にぴったりの本を揃えて皆さんの来館をお待ちしています！



